



コネクテッドモビリティデータレイク

コネクテッドモビリティデータレイク



コネクテッドモビリティデータレイク: コネクテッドモビリティデータレイク

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

コネクテッドモビリティデータレイク i

コネクテッドモビリティデータレイクの図 1

詳細情報 2

図の履歴 3

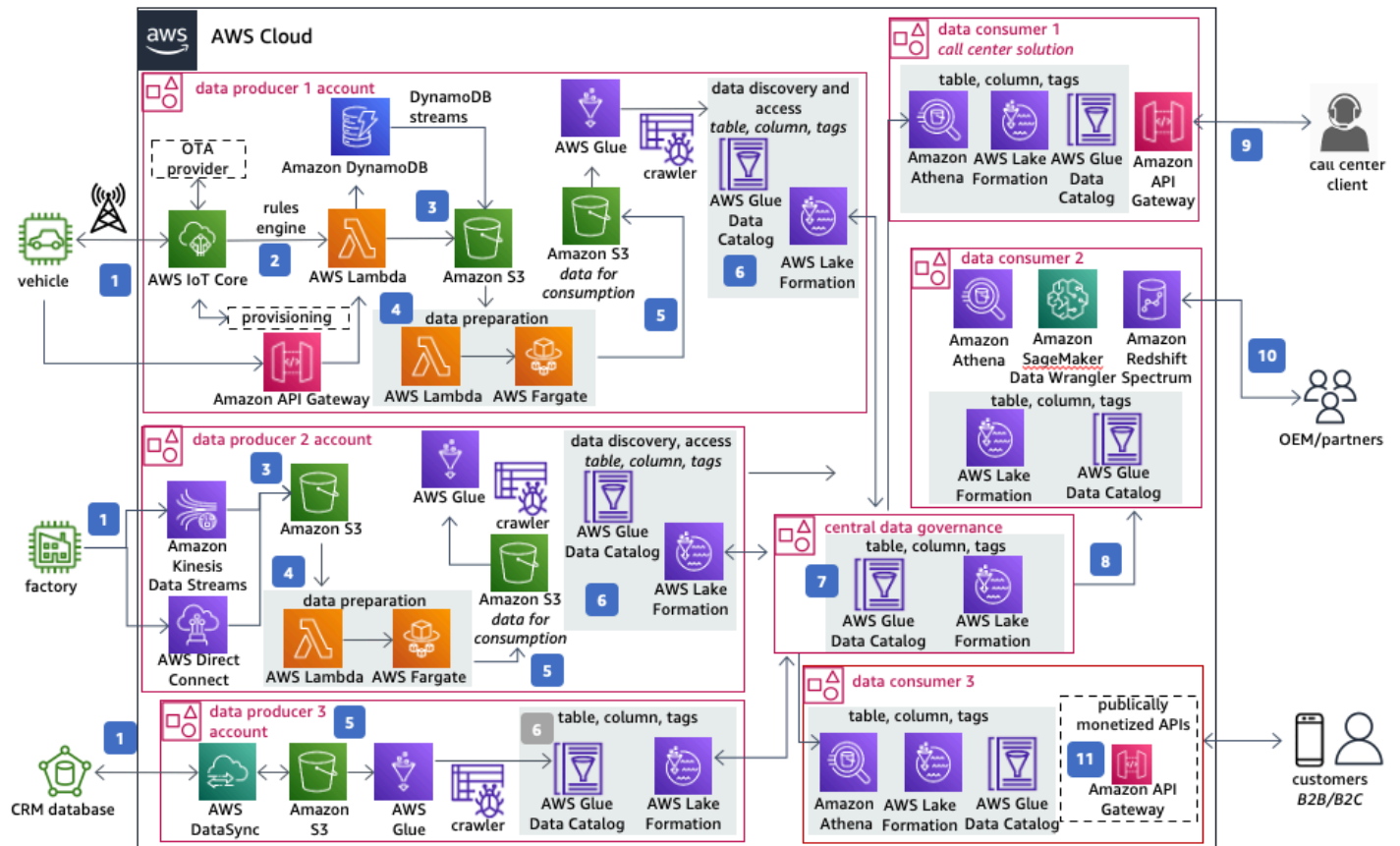
..... iv

コネクテッドモビリティデータレイク

公開日: 2023 年 1 月 1 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャにより、接続されたモビリティデータ製品を作成し、サーバーレスデータメッシュアーキテクチャでデータアクセスを民主化できます。

コネクテッドモビリティデータレイクの図



1. ネットワークプロバイダーを介して車両データを に取り込みますAWS IoT Core。Direct Connect および [Amazon Kinesis Data Streams](#) を介してファクトリデータを取り込みます。カスタマーリレーションシップ管理 (CRM) データベースを Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) とで同期します[AWS DataSync](#)。
2. ルールAWS IoT Coreに基づいて からメッセージを転送しAWS Lambda、 を使用してメッセージを処理し、Amazon DynamoDB と Amazon S3 に取り込みます。DynamoDB は、属性とさまざまな車両ステータスストレージに使用されます。
3. raw データを Amazon S3 に保存します。

4. Amazon S3 イベントはAWS Lambdaデータ処理を開始し、データ準備のためのAWS Fargateバッチジョブを開始します。
5. 製品として表示するデータセットを Amazon S3 バケットに保存します。データプロデューサーは、データの品質と形式を担当します。
6. プロデューサーアカウントのクローラジョブを使用して AWS Lake Formation Data Catalog AWS Glue エンティティを作成します。データカタログは、中央のデータガバナンスアカウントに[レブリケート](#)され、データを検出できるようにします。
7. ソースで変更されたときに、中央 Data Catalog でスキーマの変更とアクセス許可のデータ変換 (変更、削除、更新) を管理するロールをデータプロデューサーに付与します。プロデューサーアカウントからスキーマの自動変更を伝達します。
8. データコンシューマーのリクエストと、データ[を表示してアクセス可能](#)にする必要性に応じて、データ所有者は一元化されたアカウントのAWS Lake Formationアクセス許可をコンシューマーアカウントに付与します。これらのアクセス許可は、データ分類、コストセンター、環境などのコントロールを通じてアクセスを管理するために使用できる、直接エンティティ共有またはタグベースのアクセスコントロールに基づいています。
9. [コールセンターアプリケーション](#)は、さまざまなアカウントのさまざまなソースのデータにアクセスして、顧客を支援できます。
- 10.元の機器メーカー (OEM) 部門またはそのパートナーは、利用可能なデータを確認し、新しいユースケースを作成するためのアクセスをリクエストします。データクエリは、Amazon Athena、Amazon SageMaker AI Data Wrangler、または Amazon Redshift Spectrum を使用して行われます。
- 11.OEMsは、Amazon API Gateway を使用してエンドユーザーアプリケーションと企業にデータへのアクセスを許可し、[APIs を収益化できます](#)。

詳細情報

詳細については、「」を参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードにサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2023 年 1 月 11 日

Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。